

平成26年度 第3回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成26年6月13日（金） 午後3時00分～午後4時30分
場 所：県庁10階 病院局管理者室
出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，経営企画課長ほか
病院 中央病院長，海部病院長，中央病院副院長，
各病院看護局長，各病院事務局長 ほか
鳴門病院理事長，事務局長 ほか
県 医療政策課

1 議題

（1）地域医療連携の現状と今後の取組について

【説明】中央病院

新たな地域医療支援病院を目指して更なる院内外との連携を推進していくため、中央病院における地域医療連携に関する取組内容と今後の目標等について説明する。

【説明】三好病院

平成18年に地域医療センターを設置してから現在までの病診連携の取組状況及びその成果について説明する。また、平成26年3月に地域医療支援病院の承認を受けた三好病院において、地域に信頼される病院創りを目指し、今後の地域貢献や在宅支援への取組等についても説明する。

【説明】海部病院

前方支援や訪問診療・訪問看護に至る地域医療センターの取組状況とともに、少子高齢化が進んでいる海部地区における今後の課題等について説明する。

【説明】鳴門病院

地域医療連携の現状と有床診療所の入院ベッドの閉鎖など地域医療環境の変化とともに、在宅医療のネットワーク化や多職種連携の充実など地域医療連携室の新たな取組について説明する。

【質疑等】管理者

今後、精神科の領域は退院後一定期間の在宅支援、地域の精神科病床へ移すなど積極的に在院日数を減らしていく状況を作らざるを得ないと思われる。一般的な疾患の在宅支援に加え精神疾患患者のアウトリーチ（訪問支援）を組み込んでいく必要性がでてくるのではないかな。

三好病院については、内科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科などが、潜在的な患者数が多いところ。この部門をどれだけ充実させるかにより、東部圏域へ流出している患者を逆に（西部圏域へ）流入させることができるかどうかに関わってくるのではないかなと思う。難しいところではあるが。

（2）その他

・第2回4病院災害医療連携検討ワーキンググループの概要について

【説明】病院局

県立3病院と鳴門病院が、災害医療における連携・協力を図る項目について、事務レベルで検討するため、第2回ワーキンググループを開催した。

今年度の取組として、災害訓練の連携・協力を図っていくため、各病院の災害訓練への参加や、災害用備蓄品の共同購入の実施について検討を進めていくこととしている。